

令和8年4月1日から開始
RSウイルスワクチン
定期接種化(無料)



のお知らせ

対象者

熊本市に住民登録がある**妊娠28週～36週の妊婦**
※親子(母子)健康手帳の提示をお願いします。

妊娠高血圧症候群に罹患したまたは高リスクの方は
予防接種に注意が必要です。かかりつけ医にご相談ください。



RSウイルスワクチンとは

ワクチン接種によって作られたRSウイルスに対する抗体が赤ちゃんに移行することで生まれてきた赤ちゃんのRSウイルス感染症の重症化を予防する効果が期待できます。

RSウイルス感染症とは？

RSウイルスは接触感染、飛沫感染で感染が広がり、2歳までにほぼ全員が少なくとも1度は感染するといわれています。

<症状>

発熱、鼻汁、咳などの風邪様の症状が数日続き、多くは軽症で回復しますが、重症化した場合は、細気管支炎、肺炎などを起こします。

<重症化しやすい場合>

生後6ヶ月以内の新生児・乳児への感染や、低出生体重児、心臓、肺、神経、筋肉などに基礎疾患がある場合や免疫不全がある場合などには重症化の可能性が高まります。

- 熊本市内の医療機関で接種する場合
医療機関に直接電話をお願いします。
- 熊本市外・県外の医療機関で接種する場合
事前の手続きが必要です。感染症予防課までお問い合わせください。

お問い合わせ・申請書提出先
熊本市感染症予防課(熊本市保健所4F)
〒 862-0971 熊本市中央区大江5丁目1-1
☎ 096-364-3189

